



目次

(1) バリアフリー推進ネットワークからのお知らせ

交通バリアフリー推進の集いについて

交通バリアフリー推進の集い交通バリアフリー推進セミナー報告書配布について

(2) ネットワーク参加団体からのお知らせ

荒川区基本構想点訳版・音訳版（あふネット）

荒川区交通バリアフリー基本構想・あふネットの取り組み点訳版、音訳版（あふネット）

旅客船及び旅客船ターミナルにおけるバリアフリーに関する調査研究（（社）全国脊髄損傷者連合会）

船員研修用ビデオ、DVDの販売について（（社）日本旅客船協会）

(3) エコモからのお知らせ

第30回国際福祉機器展への展示

アクセシブル・デザイン・フォーラムの共催

らくらくおでかけネットの提供“福祉タクシー情報の追加”

公共交通ターミナルのバリアフリー度評価について

(4) 行政からのお知らせ

交通バリアフリー法基本構想策定状況

(5) 各種催し物のお知らせ

JATA 世界旅行博2003

第10回高齢者・障害者のモビリティと交通に関する国際会議 TRANSED 2004

第30回国際福祉機器展 H.C.R.2003 開催要項

第5回西日本国際福祉機器展

第14回シルバーサービス展

(6) その他

書籍に関して

記事募集中

お願い(必ずお読みください。)

・転送先について

・送付先について

コラム

(1) バリアフリー推進ネットワークからのお知らせ

交通バリアフリー推進の集いについて

本年度も、来たる11月14日(金)に、「第2回交通バリアフリー推進の集い」を開催することとなりました。ご参加のお申し込みは、ホームページ上の参加申込票にて、10月31日(金)までに郵送、FAX、メールにてご提出ください。なお詳細は、後日正式にホームページにてご案内させていただきます。皆様からたくさんのご参加をお待ちしております。(http://www.ecomo.or.jp/itami_sengen/itami_index.html)

またバリアフリー推進ネットワークでは交通バリアフリーを推進していくために、ご賛同していただける方々を募集しております。ホームページ上に掲載しております交通バリアフリー推進支援連絡協議会と「伊丹宣言」への参加呼びかけをご参照頂き、お申し込みください。

当日は昨年度の集いで実施いたしました「交通バリアフリー優秀事例の表彰」があります。ターミナル部門と活動部門について、皆様からご推薦頂き、本年度も集い当日に表彰し、日頃のご活動を讃えるとともに会員の励みにしたいと考えております。

また、優秀事例のご推薦につきましては下記の点にご留意いただき、推薦書(ホームページ上に掲載)を9月30日(火)までにご提出いただきますようよろしくお願いいたします。

1. 開催日時 平成15年11月14日(金) 13:15~16:30 交流会 17:00~18:00
2. 開催場所 国立オリンピック記念青少年総合センター 小ホール
住所: 東京都渋谷区神園町3-1 TEL: 03-3467-7201
3. 式次第 13:15 開会挨拶 (交通バリアフリー推進支援連絡協議会)
13:20 来賓挨拶
13:25 バリアフリー優秀施設・活動大賞結果発表、表彰
13:35 バリアフリー優秀施設・活動事例報告
13:45 ネットワーク参加団体活動事例報告
14:15 小中学生による交通バリアフリー体験報告(仮題)
14:35 休憩
14:50 パネルディスカッション
「まちづくりと交通バリアフリー ~市民参加による推進」(仮題)
16:20 会場との質疑応答
16:30 閉会
17:00 交流会(レストラン とき)
4. 参加料 資料代500円/部 交流会 2,000円/人
5. 後援 国土交通省(予定)

詳細につきましては、当財団のホームページをご参照ください。

http://www.ecomo.or.jp/itami_sengen/itami_index.html

交通バリアフリー推進の集い、交通バリアフリー推進セミナー報告書配布について

昨年11月15日に実施しました交通バリアフリー推進の集いの当日配付資料をご希望の方は、ご連絡ください。また、平成13年度1年間で、全国10カ所で開催しました交通バリアフリー推進セミナーの報告書を作成しました。また、当日配付資料もございますので、ご希望の方は、ご連絡ください。

(2) ネットワーク参加団体からのお知らせ

荒川区基本構想点訳版、音訳版(あふネット)

全国で取り組みが進んでいる交通バリアフリー法に基づく基本構想策定において、東京都荒川区の基本構想が平成14年3月25日に受理されました。その基本構想独自の概要版の点訳版(2冊組)、音訳版を、調査・策定作業に携わったあふネットが作成いたしました。現在、交通エコモ財団にご寄付頂きました資料を貸出ししております。ご興味のある方は、交通エコモ財団バリアフリー推進部までお問い合わせください。 FAX: 03-3221-6674 E-mail: ecomomail@ecomomail.jp

荒川区交通バリアフリー基本構想・あふネットの取り組み点訳版、音訳版（あふネット）

昨年度、交通バリアフリー活動に対する助成で作成されました、「荒川区交通バリアフリー基本構想・あふネットの取り組み」が点訳、音訳されました。点訳版は4冊組、音訳版は10本組となっております。こちらの資料を貸出いたしておりますので、ご興味のある方は、交通エコモ財団バリアフリー推進部までお問い合わせください。 FAX：03-3221-6674 E-mail：ecomomail@ecomomail.or.jp

旅客船及び旅客船ターミナルにおけるバリアフリーに関する調査研究（（社）全国脊髄損傷者連合会）

社団法人全国脊髄損傷者連合会では、車いす使用者の利用は困難と考えられている海上交通機関に着目し、旅客船及び旅客船ターミナルのバリアフリーの現状について車いす使用者の視点から調査を実施しました。調査対象は、国内の一般旅客定期航路事業に用い供する5t以上の船舶と全国の旅客ターミナルとなっています。ご興味のある方は、（社）全国脊髄損傷者連合会までお問い合わせください。

〒134-0085 江戸川区南葛西5-13-6 TEL03-5605-0871 FAX03-5605-0872

E-mail sij@ak.wakwak.com <http://www.ak.wakwak.com/~sij/>

船員研修用ビデオ、DVDの販売について（（社）日本旅客船協会）

（社）日本旅客船協会では船員研修用ビデオ、DVDを作成いたしました。今回、特に関係するのは「旅客船の接客サービス」についてです。監修段階では、交通エコロジー・モビリティ財団も参加し、障害のあるお客様の対応についても解説させて頂いております。

ビデオ・DVDタイトル（いずれも乗組員研修用と前に入ります） 全3巻

1．旅客船の接客サービス、2．操練の重要性、3．緊急時の対応

ビデオは各1,700円、DVDは3本を1枚に収録してあり、6,500円となります。なお、送料は別途実費となりますので、ご了承ください。

お申込み・お問い合わせは、社団法人日本旅客船協会、河内、TEL03-3501-6766、FAX03-3580-7842

（3）エコモからのお知らせ

第30回国際福祉機器展への展示

来る10月15日（水）～17日（金）東京ビッグサイトにおいて、第30回国際福祉機器展H.C.R.2003が下記の通り開催されます。ハイテク化やIT化といった技術革新や研究開発により、高齢者や障害者の日常生活や社会参加を促進する福祉機器は、重要な役割を担い、大きな期待が寄せられています。今回、世界の福祉機器が総合展示され、年々拡大している同展示会に、高齢者や身体障害者等の移動に関わる分野（交通バリアフリー関連）として、当財団も出展することにいたしました。

アクセシブル・デザイン・フォーラムの共催（国際福祉機器展において）

21世紀に入り、日本をはじめ多くの国で、高齢社会の進展が大きな社会課題となってきています。これまでは、ある特定の利用者を想定し、その人達向けの限られた製品やサービスの開発を行うことにより、様々な技術や産業の発展が促されてきました。しかし、来るべき高齢社会では「誰にでも利用可能とすること：アクセシビリティ」が時代を支える新しいキーワードとなります。障害のない人達だけではなく高齢者や障害のある人達を含めたより多くの人々が、それぞれの立場や状況に応じて、使いやすいように配慮された製品やサービス、生活環境の実現が求められることとなります。

そこで、様々な関係者が、高齢者・障害のある人達を配慮した社会の実現に向け、適切な情報交換や課題の共有化、共同研究、ルール作りなどを行う場として、アクセシブル・デザイン・フォーラム・シンポジウムを企画致しました。

今回は、第30回国際福祉機器展の開催に併せて、10月16日に東京ビッグサイトにて「日本の高齢者・障害のある人達への配慮施策の現状と今後～新しい社会のルール作りを目指して～」と題してシンポジウムを開催いたします。このシンポジウムは、欧州で開催されている「Accessibility for All」と連携したものであるとして位置付ける予定です。

ここでは、来るべき高齢社会に向けた、新しい社会のルール作りを目指した熱心な議論が展開されるものと確信いたしております。みなさまの多数のご参加をお待ちいたしております。

日時：平成15年10月16日(木)13:00～17:00

場所：東京ビッグサイト レセプションホール

主催：(財)共用品推進機構、(財)交通工場のバリアフリー財団、(財)高齢者住宅財団、新工業 - 産業技術総合開発機構(NEDO)、(独)製品評価技術基盤機構、(財)日本規格協会、日本福祉用具・生活支援用具協会、(財)ペタリービング(順不同)

後援：内閣府、総務省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省、東京商工会議所、読売新聞東京本社(順不同)(依頼中)

協力：(独)産業技術総合研究所、AP/COPOLCO(アジア太平洋消費者政策委員会)、ATCインベスター、UD推進自治体連絡会、(社)ビジネスマン機械・情報システム産業協会、(社)交通バリアフリー協議会、(社)電子情報技術産業協会、(社)日本エレベーター協会、(社)日本玩具協会、(社)日本機械学会、(社)計測自動制御学会、(社)日本自動車工業会、(社)日本住宅設備システム協会、(社)日本通信販売協会、(社)日本包装技術協会、(社)人間生活工学研究センター、(財)家電製品協会、(財)福祉施設協会、(財)保健福祉広報協会、情報通信ネットワーク産業協会、日本フードサービス協会、日本自動販売機工業会、日本人間工学会、日本政策投資銀行、日本生活支援工学会、日本大衆薬工業協会、福祉用具の日推進協議会(順不同)(依頼中)

定員：800名(受付は先着順、定員になり次第締め切り。)

参加料：無料

プログラム(敬称略)：

13:00 フォーラム委員長挨拶 防衛医科大学教授 菊地 眞

13:20～14:00 / セッション1 住宅

「高齢社会対応型住環境整備の変遷と現状の課題」日本女子大学家政学部住居学科助教授 佐藤克志

「住まいと暮らしのユニバーサルデザイン」 松下電工株式会社コーポレートデザイングループ 部長 山内勉

14:00～14:40 / セッション2 交通

「交通バリアフリーの現状」 国土交通省 総合政策局消費者行政課 バリアフリー対策室長 小澤 一男

「地下鉄における垂直移動設備の推進について」

帝都高速度交通営団垂直移動設備プロジェクトチーム課長 佐藤 高

14:40 休憩

15:00～15:40 / セッション3 情報

「アクセシビリティガイドラインの規格化とそのインパクト」東洋大学経済学部教授 山田肇

「IBMの情報アクセシビリティへの取り組み」日本アイ・ビー・エム株式会社アクセシビリティセンター AP 部長 吉永 秀志

15:40～16:20 / セッション4 製品

「日本流アクセシビリティのE/づくりを目指して」

財団法人共用品推進機構イカ編集長(元日経文庫編集長)高嶋健夫

「乗る人すべてに、使いやすく。クルマのE/デザイン～“ラム”の開発を通じて～」

トヨタ自動車株式会社 第2トヨタマーケティングアジア 多田哲哉

16:20～17:00 / セッション5 開発

「人間特性の科学的データに基づく高齢者・障害者配慮設計指針」

産業技術総合研究所人間福祉医工学研究部門感覚知覚グループ 長 佐川賢

「福祉用具助成事業の収益納付事例 - 高齢者・障害者用グラウンド・ゴルフ開発 - 」

株式会社アシックスエィップメント事業部企画開発部事業企画担当 徳井康之

17:00 閉会

申込先及び問合せ先：財団法人日本規格協会 標準部内 ADF シンポジウム 事務局 因、森武、穂山

〒107-0052 東京都港区赤坂4丁目9-22 虎屋ビル6階

TEL：(03)5770-1596、FAX：(03)5770-1592、E-mail：chinami@jsa.or.jp

申込方法：当日受付は混雑が予想されます。予め申込書の郵送、FAX 又はEメールでお送りください。

らくらくおでかけネットの提供 ” 福祉タクシー情報の追加 ”

現在、インターネット、携帯端末を通して、高齢者や障害のある方々が最寄りの駅から目的地の駅まで、公共交通機関を円滑に、快適に移動できるよう駅構内のバリアフリー施設、乗り換え案内等のバリアフリー情報を提供していますが、今回、全国福祉タクシー輸送サービス協会の協力を得て、これまでの駅ターミナル情報、乗り換え情報、運行情報等に、新たに福祉タクシー情報を追加しました。

現在、この福祉タクシー情報は、総合版を掲載していますが、今年の9月頃には、個々の駅単位で、最寄りの福祉タクシーが検索できるようになる予定です。

また、このらくらくおでかけネットは、平成14年1月25日より、本格運用しており、平成15年3月31日現在で、鉄道駅3,598駅、空港74、バス153、旅客船437ターミナルの情報を提供しており、14年度の1日平均アクセス件数は、1,707件でしたが、最近1週間のアクセス件数は、2,789件と大きく増加しています。特に、携帯端末によるアクセスが増えています。

なお、アドレスは下記の通りです。

アドレス:(パソコン版) <http://www.ecomo-rakuraku.co.jp/rakuraku/index/>

(携帯版 = i-mode, j-sky) <http://www.ecomo-rakuraku.co.jp/rakuraku/mobile/>

(携帯版 = EZ-web) http://www.ecomo-rakuraku.co.jp/rakuraku/mobile_ez/

公共交通ターミナルのバリアフリー度評価について

「公共交通ターミナルのバリアフリー度評価に関する簡易評価マニュアル」を公開しておりますが、本評価マニュアルは、あくまでも地域のボランティア、市民グループ、学生の皆様などが自主的に評価に取り組まれる時(地域の基本構想作成時などが考えられます)にお役立ていただく方法として、提供させていただいておりますので、ご自由にお使いいただければと思います。なお、鉄道事業者等との対応に際しましては、エコモから依頼しているものではありませんので、誤解のないよう、よろしくお願いたします。

(4) 行政からのお知らせ

交通バリアフリー法基本構想策定状況(平成15年9月5日まで 受理順に掲載)

基本構想を作成済みの市区町村 97市町村(100基本構想)

福岡県福岡市、北海道室蘭市、広島県呉市、千葉県千葉市、山梨県石和町、大阪府守口市、鳥取県鳥取市、新潟県亀田町、大阪府交野市、大阪府八尾市、千葉県船橋市、北海道千歳市、大阪府堺市、福岡県大牟田市、東京都荒川区、富山県小杉町、福岡県福岡市、兵庫県明石市、香川県丸亀市、石川県金沢市、北海道恵庭市、埼玉県熊谷市、神奈川県相模原市、滋賀県守山市、大阪府河内長野市、広島県広島市、神奈川県秦野市、福岡県北九州市、大阪府豊中市、長崎県佐世保市、京都府長岡京市、長崎県長崎市、長野県諏訪市、岐阜県各務原市、岐阜県可児市、神奈川県藤沢市、千葉県柏市、福岡県古賀市、静岡県静岡市、大阪府東大阪市、富山県魚津市、千葉県袖ヶ浦市、大阪府阪南市、兵庫県宝塚市、兵庫県神戸市、東京都羽村市、東京都北区、新潟県新発田市、愛知県春日井市、静岡県焼津市、大阪府柏原市、大阪府大阪狭山市、大阪府茨木市、新潟県長岡市、愛知県名古屋市、大阪府藤井寺市、北海道遠軽町、東京都千代田区、三重県津市、宮城県仙台市、大阪府堺市(2)、鹿児島県鹿児島市、大阪府八尾市(2)、東京都武蔵野市、岐阜県穂積町、埼玉県深谷市、大阪府吹田市、東京都八王子市、大阪府柏原市(2)、北海道札幌市、兵庫県姫路市、山口県菊川町、愛知県岡崎市、福岡県大野城市、大阪府寝屋川市、滋賀県今津町、島根県多岐町、千葉県八千代市、滋賀県大津市、岐阜県岐阜市、香川県高松市、大阪府大阪市、大阪府泉南市、高知県高知市、新潟県新潟市、埼玉県東松山市、愛媛県松山市、滋賀県彦根市、山形県南陽市、岩手県盛岡市、広島県東広島市、茨城県取手市、広島県三原市、北海道北見市、福島県会津若松市、大阪府高槻市、滋賀県米原町、京都府福知山市、神奈川県津久井郡藤野町、神奈川県小田原市

詳細に関しては、国土交通省のホームページをご覧ください。

http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha03/01/010908_.html

(5) 各種催し物のお知らせ

JATA 世界旅行博 2003

「すべての人にやさしい旅を」をテーマに活動を続けている「もっと優しい旅への勉強会」では、社団法人日本旅行業協会(JATA)からの委託を受けて、アジア最大(世界94カ国・地域から参加)の旅行博覧会である上記イベントにおいて、バリアフリー旅行に関するブース出展およびシンポジウムを実施いたします。みなさまのご来場をお待ちしております。

1. 【イベント全体の概要】「JATA 世界旅行博 2003」について

名称：JATA 世界旅行博 2003

主催：JATA 国際観光会議 & 世界旅行博実行委員会、後援：国土交通省、横浜市

企画・運営：社団法人日本旅行業協会、株式会社世界旅行博

会場：パシフィコ横浜 〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1

開催期間：2003年10月3日(金)～5日(日)

3日(金) 10:00～18:00 業界関係者

4日(土) 10:00～18:00 業界・一般入場 シンポジウム開催

5日(日) 10:00～17:00 業界・一般入場

入場料：大人1200円、学生600円 業界関係者は名刺掲示で入場可能。保護者同伴の小学生以下は無料
JATA 世界旅行博 2003 公式サイト <http://ryokohaku.com/>

2. 【ブース出展のご案内】

出展ブース名「バリアフリー旅行情報センター」(ブース H-1、パシフィコ横浜展示ホール内)

○10月3日(金)～5日(日)

障害のある方、高齢の方々をはじめ、多くの方がもっと気軽に旅を楽しむため、イベント期間中においてバリアフリー旅行に関するパンフレットや情報誌をご紹介します。スタッフによる相談も受けつけています。お気軽にお越しください。

3. 【シンポジウムのご案内】バリアフリー旅行フォーラム 2003 「誰でも、自由に、どこへでも」

○10月4日(土) 10:00～12:30

会場：パシフィコ横浜アネックスホール 201号会場(展示会の奥隣)

バリアフリー旅行の可能性、楽しさ、情報について、旅行する方、旅行サービスを提供する方、それぞれの立場から7名の方々に具体的に旅を楽しむためのポイントを語っていただき、多くの人々にバリアフリー旅行の可能性を知っていただきたいと思っております。

プレゼンター：(予定)

【パート1「ご旅行を考えてから、ご出発まで」】

旅行当事者の方と旅行会社のご担当

上山のり子 氏 (NPO 法人 TASC (トータル・アクセス・サポート・センター) 副理事長)

高橋 玲子 氏 (共用品推進機構会員)

伴流 高志 氏 (旅行会社関係者、クラブツーリズムバリアフリー旅行担当)

【パート2「ようこそ、どうぞ」航空会社、リゾート観光地、施設などの旅行者を受け入れる方々】

大槻みち子 氏 (航空会社関係者 ANAスカイアシストデスク部長)

白石 武博 氏 (沖縄観光関係者 カヌチャベイリゾート東京支社副社長)

松本 明 氏 (スキーリゾート関係者 新井リゾート営業マネージャー)

中沢 信 氏 (ハワイ観光局関係者 株式会社バリアフリーカンパニー代表)

問い合わせ先：もっと優しい旅への勉強会 吉田岳史 E-mail：info@yasashiiitabi.net

<http://www.yasashiiitabi.net/>

第10回高齢者・障害者のモビリティと交通に関する国際会議 TRANSED 2004

日程：平成16年5月23日(日)～26日(水)

場所：浜松市 アクトシティ浜松(JR浜松駅より徒歩3分)

主催：(社)土木学会、TRANSED 2004 実行委員会 <http://transed.jp/>

共催：Transportation Research Board, USA

後援：国土交通省、静岡県、浜松市、DPI 日本会議、日本盲人会連合、日本建築学会、
日本福祉のまちづくり学会、(財)国土技術研究センター、交通エコロジー・モビリティ財団他
お問い合わせ先：〒102-0083 東京都千代田区麹町 5-7 秀和紀尾井町 TBR ビル 808
交通エコロジー・モビリティ財団内事務局
tel:03-3221-6673 fax:03-3221-6674 E-Mail: info@tranded.jp、d-sawada@ecomor.or.jp

現在、展示会場への参加を募集しています。

第30回国際福祉機器展 H.C.R.2003 開催要項

期 日：平成 15 年 10 月 15 日(水)～17 日(金) 【3 日間】

開場時間：午前 10 時～午後 5 時

会 場：東京国際展示場「東京ビッグサイト」東展示ホール(東京都江東区有明 3-21-1)

入 場 料：無料

主 催：全国社会福祉協議会 保健福祉広報協会

後援(予定)：厚生労働省 経済産業省 総務省 東京都 海外参加国大使館

協賛(予定)：(順不同) みずほ教育福祉財団、キッ福祉財団、清水基金、みずほ福祉助成財団、松翁会、丸紅基金、三菱財団、損保ジャパン記念財団、NHK 厚生文化事業団、読売光と愛の事業団、毎日新聞東京 社会事業団、産経新聞大阪新聞厚生文化事業団、日本経済新聞社、東京新聞、東京新聞社会事業団、福祉新聞社、日本赤十字社、社会福祉・医療事業団、鉄道弘済会、東京都社会福祉協議会、全国心身障害児福祉財団、長寿社会開発センター、シルバーサービス振興会、ケアワーク協会、日本理学療法士協会、日本作業療法士協会、日本アビリティーズ協会、日本障害者リハビリテーション協会、日本リハビリテーション医学会、新エレクトロニクス・産業技術総合開発機構

お問い合わせ：国際福祉機器展 H.C.R. 2003 主催事務局 財団法人 保健福祉広報協会

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

TEL. 03-3580-3052 FAX. 03-5512-9798 <http://www.hcr.or.jp/>

第5回西日本国際福祉機器展

日 程：平成 15 年 11 月 13 日(木)～15 日(土)

場 所：西日本総合展示場本館大展示場 JR 小倉駅北口 5 分

参加料：入場無料

主 催：西日本国際福祉機器展実行委員会、(財)西日本産業貿易見本市協会

お問い合わせ・お申し込み 西日本国際福祉機器展事務局

〒802-0001 北九州市小倉北区浅野 3-8-1 TEL093-511-6848 FAX093-521-8845

<http://www.nishiten.or.jp/fukushi/> E-mail: fukushi@nishiten.or.jp

第14回シルバーサービス展

日 程：平成 16 年 3 月 11 日(木)～13 日(土)

場 所：池袋サンシャインシティ文化会館(B・C・Dホール)

主 催：社団法人シルバーサービス振興会

(6) その他

書籍に関して

交通エコモ財団では、現在バリアフリー関係の書籍、パンフレットを発行しております。ご興味のある方は、当財団のホームページをご覧ください。

http://www.ecomor.jp/barrier_free/bari_f_index.html

記事募集中!

現在、次号メールマガジンに掲載させて頂ける記事を募集中です。セミナーのお知らせや、活動報告、コラム等々何でも結構です。どしどしお寄せください。掲載をご希望の方は、メールか FAX でお送りくだ

さい。

コラムに関しましては、誠に申し訳ありませんが、掲載するか否かは編集担当に一任頂き、謝礼なし、とさせていただきます。

E-mail : ecomomail@ecomomail.or.jp FAX : 03-3221-6674

お願い(必ずお読みください。)

・転送先について

このメールマガジンを発刊してから、多くの方からお申し込みを頂いております。ありがとうございます。おそらく、お読み頂いている方から、更にその他のネットワークに転送して頂いていることがあると思います。現在、どの様な所まで、このメールマガジンをお読み頂いているかを把握したいと考えております。転送して頂いている方は、そのネットワーク、もしくは団体のお名前と人数をお教え頂ければと思います。 E-mail : ecomomail@ecomomail.or.jp FAX : 03-3221-6674

・送付先について

このメールマガジンをなるべく E-mail で送付させて頂きたいと思っております。アドレスをお持ちの方はご連絡ください。 E-mail : ecomomail@ecomomail.or.jp FAX : 03-3221-6674

コラム 「絵に描いた餅」

バリアフリーというとエレベーターをつける、スロープをつけるなど、段差の解消のための物理的なことだと思っている人も随分多いのではないのでしょうか。このメールマガジンをお読みの方はご存じのことと思いますが、このバリアフリーには教育、資格取得などの制度的なバリア、視覚障害、聴覚障害に対する情報のバリア、差別や偏見、理解の不足、誤解などによるバリアなどがありますが、特に理解の不足や誤解などによるバリアの問題が重要になります。駅のエレベーターが「シースルー」、「かごの中の鏡」などバリアフリー設備の設置の意味を知っている人が何人いるのでしょうか、駅前に視覚障害者誘導用ブロック(点字ブロック)がありますが、その上に自転車等が置いてあるところをよく見かけます。最近では点字ブロックの上に「視覚障害者の方のためにモノなど置かないで」と説明書きしてあるブロックもあります。このようにバリアフリーの普及には、物理的なバリアフリーとともに、バリアフリー設備等の理解を図るための周知が必要となっています。バリアフリー設備の研究・製作で、素晴らしいものができても、製作・研究だけに終わってしまうと、その成果は半分しか達成していないこととなります(絵に描いた餅)。一般利用者等に評価されて初めてその製作・研究の成果が完全に達したことになります。当財団の事業にもそのような周知不足のものが数多くあり、大いに反省させられます。

一方、小・中学生等にバリアフリーの必要性を理解させるため、実体験を通して、バリアフリーの普及を図っている仲間がいます。小・中学生と共に活動し、バリアフリーを自然に理解できるようにするとともに、友人、家族などに対する思いやり、尊重の気持ちを醸成し、徳育の推進に大いに役立たせています。

昨今、少年の犯罪が多い世の中で、この活動は大変意義のある大事な活動です。ゆくゆくは、このような活動を通じて、駅前のブロックの上に自転車を置くことはなくなるのではないかと思います。またそれらの子供達が率先垂範することにより、大人達も影響を受け、なお一層のバリアフリー化が進展することを信じてやみません。